

TCVB Sustainable Tourism Partnership 令和7年度キックオフミーティングを実施しました

7月18日(金)、賛助会員からなるTCVB Sustainable Tourism Partnershipの今年度のキックオフミーティングを実施し、31社43名が集まりました！その様子をご報告します。

▼TCVB Sustainable Tourism Partnershipとは

東京を持続可能な観光／ビジネスイベント開催都市として発展させていくために、産業パートナーである賛助会員と連携して取り組むパートナーシップ。

令和5年度に活動を開始し、令和7年度で3年目となりました。

▼参加要件

パートナーシップに参加するには、以下の2つを満たしている必要があります。

年に1回、参加企業・団体を募集しています。

①都内の事業者であり、下図の5項目のいずれかの分野において積極的な取組を行っていること、または、その他 GSTC-I やGSTC-D、JSTS-D等の内容に合致する活動を行っていること



②TCVB賛助会員であること

▼参加企業・団体数

令和7年8月7日現在、ホテル・旅館、旅行業、PCO等を中心に39社・団体が参加しています。

各企業・団体名は[こちら](#)

▼活動内容

Phase1

- 情報交換
- 情報発信(ウェブサイト等)
- GSTC STTP研修(毎年)

Phase2

- PR活動の充実
- 行政との連携による関連事業の充実化

Phase3

- 活動内容・数値等の公開(令和8年度～)

パートナーシップでは、各社の取組内容や課題の共有や、関連する国際認証等、最新の業界動向に関する勉強会等を実施しています。また、年に1回サステナブル・ツーリズムの国際基準を学ぶ「[GSTC STTP研修](#)」も実施し、業界における共通認識を習得し、各企業や施設の取組に活かしていきます。

各企業の取組は、TCVBコーポレートサイトの[特設サイト](#)においても積極的に発信しています。今後は、パートナーシップ全体の活動内容について、数値等を用いた定量的な可視化を目指していきます。

▼キックオフミーティングの様子

新たに11社・団体が参画し、開催した今年度初めてのミーティングは、一般社団法人JARTA代表理事の高山傑様による基調講演から始まりました。

海外にも幅広い業界ネットワークをお持ちで、サステナブル・ツーリズムの国内での普及の第一人者でもある高山様からは、今後の観光について、【観光は目的ではなく、地域づくりの手段である】とのメッセージとともに、国際的な業界動向の変遷と、最新の関連認証等の動きについて詳しくご講演いただきました。パートナー企業の中には、すでに宿泊施設やツアーオペレーター用の国際認証を取得している、または今後取得を検討している方々も多く、講演後には多くの質問が寄せられました。



パートナー企業である楽天トラベル様からは、パートナー企業・団体同士のコラボレーションを促進するために、同社と株式会社JTB及びBooking.com3社の**取組**についてご紹介いただきました。

今後、横の連携を強化しながら、どのように必要なアクションを業界に働きかけていくことが出来るかを考えるきっかけとなり、その後のグループディスカッションにも大いに参考となる内容となりました。



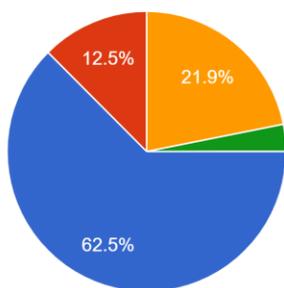
▼参加者の声



「最新の業界動向の収集」と「他のパートナー企業・団体とのネットワーキング」が参加目的

参加者のアンケート結果(下記)からは、多くが、国際認証を含む最新の業界動向の把握、また、他の企業・団体とのネットワーキング機会として、本パートナーシップを活用していることが分かります。

ミーティングへの参加理由について、以下のうち最...ではまるものをご回答ください。(ひとつ選択)
32件の回答



- サステナブルツーリズムの最新情報・業界動向の収集
- 他のパートナー企業・団体の取組についての情報収集
- 他のパートナー企業・団体とのネットワーキング
- TCVBの事業に関する情報収集

- ✓ 会員数が増えてきたため、ネットワーキングが増えて参加意義が増した。(旅行業)
- ✓ 他企業様の取り組みや意見を伺えて貴重な時間でした。(宿泊施設)
- ✓ これまで全く横のつながりがない方々とお会い出来て、他社様の取り組み状況をお伺いしたり現状を共有することが出来て、横の連携が生まれそうなお話をする事が出来た。(旅行業)
- ✓ GSTC認証だけでなく、EUの動きを知りたかったため貴重な機会だった。(旅行業)
- ✓ 認証制度の議論ではなく、(講師の)より俯瞰した目線からのご意見ががとても勉強になった。(その他)
- ✓ 現在、認証取得に向けて動いているが、改めて認証を得る事でより多くの方に安心してご利用いただけるホテルとってもらえるのだと感じた。(宿泊施設)

また、本パートナーシップを通じてどのように業界にサステナブル・ツーリズムの推進を働き掛けていけるかについては、各社の温室効果ガス削減量やその他のサステナビリティに関するデータ等、まずは取得できる数字を収集し、活動の可視化、公表に向けて活動するのはどうか、といった活発な議論がなされました。

今後も、東京のサステナブルなデスティネーションとして成長・発展を目指し、活動を充実させていきます。